

行政区長会議を開催



↑行政区長会議の様子

行政区長会議が4月16日（土）、広野町公民館で開催されました。会議では令和4年度の町の重点事業説明が行われたほか、事前に行政区長から寄せられた質問・要望への対応について回答をしました。また、行政区長から新型コロナウイルスのワクチン接種、道路の維持管理などについての質問や要望があり、これに対して遠藤町長や担当課長がそれぞれ回答し、意見交換をしました。

ひろのてらす6周年「春を告げるセール」を開催



↑3月25日ひろのてらす6周年春を告げるセール

イオン広野店をキーテナントとした公設商業施設「ひろのてらす」が3月25日（金）、オープン6周年を記念してひろのてらす6周年「春を告げるセール」を開催されました。

買い物をはじめ、交流、憩いの場として多くの皆様にご支援とご愛顧をいただき、震災から11年が経過した令和3年3月に、オープン6周年を迎えることができました。

オープン6周年を記念して、来場者に移住定住に関するパンフレットや広野町のPRグッズを手渡しました。

広野町文化交流施設開館記念式典を挙行

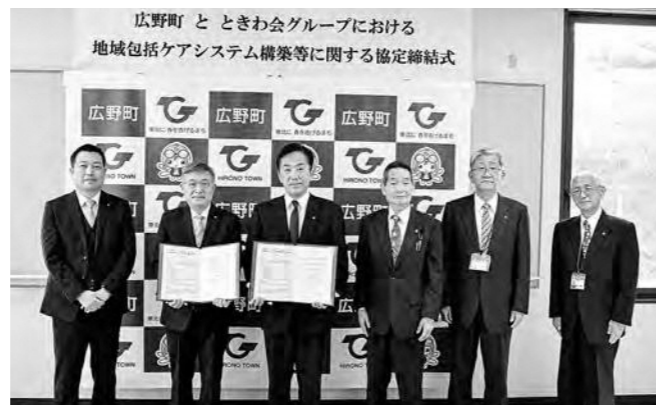


↑広野町文化交流施設開館記念式典

広野町文化交流施設開館記念式典が4月16日（土）、広野町文化交流施設多目的ホールで開催されました。式典では、福島復興局長 生沼裕様をはじめ、多数のご来賓のみなさんにご祝辞を賜り、東京大学アイソトープ総合センター長 高橋嘉夫様、早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター長 松岡俊二様より記念講演がありました。

当館に多くの方にご来場いただき、新しい文化活動の場となるよう取り組んでいきます。

ときわ会グループと地域包括ケアシステム構築等に関する協定を締結



↑福祉のまちづくりに向けた協定締結式

町は3月30日（水）、ときわ会グループが有する医療・介護・福祉分野における知見の供与を受けることにより、町が掲げる「福祉のまちづくり」の具現化、促進につなげることを目的として、ときわ会グループと地域包括ケアシステム構築等に関する協定締結式を実施しました。

この協定締結により、この地域が抱えている医療・介護・福祉の様々な課題に対し迅速かつ適切に対応し、ときわ会グループとの連携の下、「福祉のまちづくり」の実現に向け取り組んでいきます。

「精神的損害」に係る賠償に関する緊急要望・要求活動



↑小早川社長に緊急要求書を手渡す鈴木副知事(左から3人目)

福島県原子力損害対策協議会の避難等に伴う「精神的損害」に係る賠償に関する緊急要望・要求活動が4月19日（火）、都内で行われ、同会長（内堀雅雄県知事）の代理である鈴木正晃副知事をはじめ、同副会長で福島県町村会長の遠藤智町長らが出席しました。

東京電力、経済産業省、原子力損害賠償紛争審査会が設けられている文部科学省に対し、被災者からの請求を真摯に受け止め、誠実に対応いただくとともに、公平な賠償を確実かつ迅速に行っていただくよう強く要求しました。

広野町地域学習副読本・広野中学校「ふるさと創造学」成果物の報告会



↑小学生の広野町地域学習副読本と広野中学校「ふるさと創造学」成果物の報告

広野町教育委員会は3月31日（木）、関係機関と連携を図りながら、作成した小学生向けの副読本（地域学習教材）と中学校3年間におけるふるさと創造学のテーマを「ふるさとの魅力を探る、伝える、創る」とした各学年の生徒の実態に応じて課題を設定した探求活動について、遠藤町長と北郷議長に報告しました。

今後、小学校高学年の「ふるさと創造学（総合的な学習の時間）」や中学校での活用をしていきます。

春の全国交通安全運動がスタート



↑啓発のプラカードを掲げる町職員

春の全国交通安全運動が4月6日（水）スタートし、遠藤町長をはじめとする交通教育専門員、双葉警察署、町職員が横断幕や一文字看板などを持って役場前の国道6号線で立哨活動を行い、交通安全の啓発を行いました。

6日は広野小中学校の新学期初日ということもあり、元気に登校する小中学生を見守りました。春の全国交通安全運動は4月15日（金）まで実施されました。

春の全国交通安全運動の出動式



↑出動式であいさつをする遠藤町長

春の全国交通安全運動の出動式が4月5日（火）、富岡町の双葉署で行われ、広野町交通対策協議会長である遠藤町長が出席しました。

出動式では、黒沢双葉警察署長、遠藤町長がそれぞれあいさつをし、富岡地区交通安全協会の水島会長が富岡小学校の新入児童に対し、交通安全グッズを贈呈しました。

同署や県警交通機動隊、県警災害対策課特別警ら隊、富岡地区の交通安全関係団体から約30人が出席し、交通安全の誓いを新たにしました。